

1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
－教育の情報化の推進を通して－

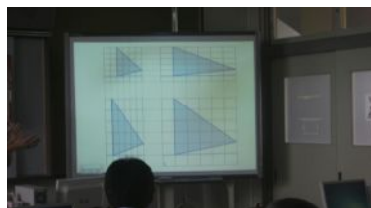
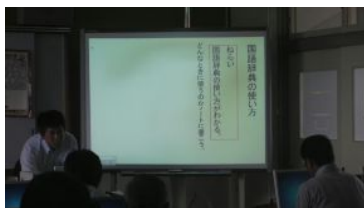
- (1) 高度情報通信社会に主体的に対応できる情報活用能力の育成
- (2) ICTを活用した学習指導の工夫・改善
- (3) 教員のICT活用指導力の向上

2 研修内容

- (1) 日 時 平成24年7月30日（月）9:00～12:00
- (2) 場 所 西予市立野村小学校 コンピュータ室
- (3) 内 容

ア 教材関係

- (ア) 電子黒板の活用事例発表・・・講師 西予市各支部代表者
西予市各支部の代表者が電子黒板を授業でどのように活用しているか、事例発表を行った。
- (イ) 授業に使えるコンテンツ集作り・・・講師 西予市立高山小学校 久保田 温 教諭
現在、インターネット上には、各教科の授業に使うことができるコンテンツが数多く存在する。そこで、各自が自分の気に入っているホームページのアドレスをエクセルファイルにコピーして、みんなが手軽にアクセスできるようにコンテンツ集を作った。それは、西予市共有ファイルに保存されている。



イ 校務関係・・・講師 西予市情報教育アシスタント 国広 達也氏

今年度より、新たに導入された西予市共有ファイルの活用の仕方や西予市が進める情報推進について研修した。

3 その他

県情報教育夏期研修会において、電子黒板と連携したタブレット型端末を用いた、模擬授業を受けた。今後、タブレット型端末の普及が予想される。各教科の授業において、どのように活用すれば効果が上がるのか研究する必要がある。また、プロジェクタに取り付ける電子黒板ユニットの紹介があった。電子黒板に比べて安価なため、今後の普及が期待される。

4 今後の課題

電子黒板が導入されて3年が経過するが、まだ、積極的に活用されているとは言いにくい。電子黒板で使える教材やコンテンツがまだ普及していないことが考えられる。個人の研修で、教材を開発することも重要であると思うが、まずは、インターネット上で探して、手軽に使ってみることも重要だと思う。たくさんの教職員の授業の役に立つことが電子黒板の使命であるとする。また、共同事務室で西予市全教職員の個人メールアドレスを作成してもらったのでそれを有効に活用して日々の校務に役立てたいと思う。さらに、将来的には西予市の全小中学校がネットで繋がる時代もくるかもしれない。だから、一人一人の教職員がさらなる研修を積み重ねて、子どもたちに指導していかなくてはいけないと思う。